

# ふれあいかんだより

2

かわさきし かん  
川崎市ふれあい館

かわさきしかわさきさくらもと  
〒210-0833 川崎市川崎区桜本1-5-6 TEL : 044-276-4800  
http://www.seiky-sha.com e-mail : fureaikan@seiky-sha.com

2026.2.1

No.442

くじょうかいけつせきにんしゃ ちえ かんいぢや  
苦情解決責任者 崔 江以子  
すずき けん 健  
鈴木

かわさきしよかん みらいきよせいしょうねんしえんしつ  
川崎市所管 こども未来局青少年支援室 (TEL044-200-3083)

## もち たいけん おこな お餅つき体験を行いました。



1月6日(火)にふれあい館でお餅つきをしました。臼や杵を触るのが初めての子どもたちが集まりました。初めての経験でしたが無事にお餅ができました。柔らかい、できたてのお餅は、海苔醤油、きなことともに、瞬く間に子どもたちの胃袋に消えていきました。これからもふれあい館では季節感を大事にしたイベントに取り組んでいきます。みなさんもぜひご参加ください。

## しじがっきゅう たぶんかこうりゅうかい おこな 識字学級で多文化交流会を行いました。



12月19日(金)に多文化交流学級で識字学級の交流会を開催しました。当日は、学習者の皆さんが今まで勉強してきた成果や自分の得意なことを発表しました。入門と初級、中級クラスの皆さんの素敵な自己紹介や、上級クラスの学習者さんたちが入門クラスをインタビューし、その成果をまとめて発表してくれました。また、この日初めて活動に参加した方や学習者のお子さんたちも、それぞれ「はじめまして!」と明るく自己紹介をしてくれて、皆さんと一緒に笑顔で歓迎することができました。

## おこな 「くらしのカルタ」を行いました。



1月7日(水)に在日高齢者の識字活動「ウリマダン」で「くらしのカルタ」を行いました。それぞれのハルモニ(おばあさん)が歩んできた足跡をカルタにしたものです。新年ということで久しぶりにカルタを行い、カルタを取れて大きな声で喜ぶハルモニや目の前にあったカルタを取られて大笑いするハルモニなど終始、笑いに包まれました。終了後はそれぞれが絵付けしたカルタを手に取り、懐かしみながら会話が弾む新年の初活動となりました。

# ふれあい館 2月の予定

**こども部門** 子育て支援、児童の放課後生活の援助、こどもの学習と文化活動の支援

●こそだて支援・・・乳幼児とおとなのためのプログラム 〈定例のプログラム〉

ひなまつり工作	9日(月)	10:30~11:00	ひなまつりにちなんだ工作をします。
ぴよぴよタイム &café ろば	18日(水)	10:30~11:00	お子さんの身体測定と保護者のおしゃべり会です。
木のおもちや	25日(水)	10:30~11:30	木のぬくもりがこちよのおもちやで遊びます。

家庭教育学級「自分を支えることばをさがしてみませんか」

●日時 2月19日(木) 10:30~12:00

こどもは可愛くても、子育ては楽しいことばかりではないですよ。でも、そんなモヤモヤして気持ちを誰かに話すのは気が引けて。。。という保護者さん。あなたの気持ちをすこしかるくなるように講座を企画しました。託児もあるので参加お待ちしております。

講師 こどもの虐待防止センター相談員さん

キッズスペースろばではママたちの活動中の保育支援をしています。

くわしくはキッズスペースろばまで

●小中学生プログラム・・・他にプログラムがあるよ♪ くわしくはたより(あそぼ)をみてね

ドッジボール大会	18日 水曜日	3時~	わくわくプラザの合同プログラムに参加します。
----------	---------	-----	------------------------

ふれあい館の小中学生プログラムは、みんなの意見をもらいながら、毎日のプログラムをたてています。館に毎月のだより(あそぼ)があります。

●民族文化サークル

舞踊クラブ	毎週 火曜日	4時~5時	毎週火曜日の放課後に活動しています。
ハロハロクラブ	毎週 水曜日	3時~6時	学校の宿題や、色々な国の遊びや文化を学びます。
子どもチャンゴ	毎週 金曜日	4時~5時30分	毎週金曜日の放課後に活動しています。

●中高生の活動

小・中学生学習	毎週 火・水・木曜	7時~9時	おもに新渡日外国人の小・中学生(水曜日・土曜日)、および経済的に困難で学習塾に行けない中学生(火曜日・木曜日)の基礎学力保障のための学習会
サポート	毎週土曜	1時~3時	

● 成人部門

川崎市ふれあい館 人権尊重学級part2 「境界をこえる人権」 (再掲載)

2月27日(金) 「人権とアート～記憶を辿る～」 講師 飯山由貴さん(美術家)

18時30分～20時30分

場所 ふれあい館(川崎区桜本1-5-6)

人権尊重の啓発、民族差別の克服、共に生きる社会の創造を目的とした講座です。事前申し込みの上、趣旨をご理解のうえ、ご参加ください。

申し込み: 044-276-4800 fureaikan@seikyu-sha.com (担当 遠原)

主催: 川崎市ふれあい館 川崎市教育委員会

川崎市ふれあい館 講演会

「日本における外国人政策はどこに向かおうとしているのか  
～共に生きる社会について考える～」

2025年7月に外交人との秩序ある共生社会推進室が内閣官房に設置され、11月に外国人の外国人材受け入れ・共生のための関係閣僚会議が、受け入れ・秩序ある共生社会実現に関する関係閣僚会議に改組されました。今年1月には新たな関係閣僚会議において「外国人材受け入れ・共生のための総合的対応策」が改定される予定です。そこで、現在進められている外国人政策について学ぶ機会を設けます。

日時 2026年3月13日(金) 18:30～20:30 場所 川崎市ふれあい館(川崎区桜本1-5-6)

講師 鈴木江理子さん(国士館大学教授)

申し込み・問い合わせ 川崎市ふれあい館 044-276-4800 fureaikan@seikyu-sha.com

主催 川崎市ふれあい館 川崎市教育委員会

● 識字学級

ようび 曜日	まいしゅう かようび きんようび 毎週 火曜日・金曜日	さんかひ むりよう 参加費 無料(教材費は実費)
じかん 時間	10:00～11:30	

● 高齢者 在日高齢者と世代・民族を結ぶ交流事業や高齢者の生活相談

在日高齢者交流クラブ「トラヂの会」

在日高齢者の自主活動です。感染予防をしながら活動します。10時30分から活動しています。詳細やご相談は044-276-4800までお電話ください。

しゃかいふくしほうじんせいきゅうしゃ にはんご かべ さまざま ぎょうせい  
 社会福祉法人青丘社では、日本語が壁になって様々な行政サービスにつながりにく  
 くなっている外国につながる方々の様々な手続きをお手伝いする活動を行っています！

## ●入学・進学の手続きのお手伝いをします！

にゅうがく てつづ しよるい がっこう しょうい か かた かた かん がっこう  
 入学の手続きの書類や学校でもらった書類の書き方がわからない方はふれあい館に学校で  
 もらった書類を持ってきてください。



▼2025年が終  
 わり新しい年が始  
 まりました。月並み  
 な言葉ですが長い  
 ようで短いあつ  
 いう間の1年間で  
 した。昨年の出来事で特に印象に残  
 っているこどもプログラムは10月  
 に開催したハロウィンパレードです。  
 毎年の参加人数を参考にしながら多  
 めにお菓子をを用意したにも関わらず  
 想定人数を50人ほど超えてお菓子が  
 足りなくなるといふアクシデント  
 がありました。人気の行事になってう  
 れしい反面、参加規模が大きくなりす  
 ぎて少し不自由を感じるほどの  
 大所帯になってしまいました。次回は  
 みんなが楽しめるように改善をして  
 開催していきたいです。▼そして年明  
 けは中学生の受験に向けた追い込み  
 シーズンがやってきました。ふれあい  
 館に来ている中学生も苦手科目の  
 克服や得意科目の強化などここぞと  
 ばかりに頑張っています。かつての  
 私には無かったやる気に満ちている  
 中高生の姿がまぶしく見えます。  
 私は学生のころにもっと頑張ってい  
 れば何か夢を追いかけて、今は違  
 う人生を歩んでいたかもしれないと思

うことがあります。私自身は学力面  
 ではあまり力になれず大学生、  
 高校生ボランティアに頼っている  
 状態なので、少しでも中学生の  
 居心地の良い居場所づくりが出来れ  
 ばと思い、コミュニケーションをとっ  
 たり、軽食で色々なものを作ってみ  
 たりとなんとか中学生たちに楽しん  
 でもらえればと実践しています。▼  
 中学3年生にとっては義務教育の  
 中学校が終わり、ここからが自分で  
 人生を選択していくと言っても過言  
 ではないと思います。夢に向かって進  
 みながら様々な挫折や妥協を経験し  
 なければいけないことが数多くあり  
 ます。それでも壁にぶつかりながらも  
 チャレンジを続けていき、それぞれの  
 夢や理想のために頑張ってもらいたい  
 と応援しています。自分たちの思い描い  
 ていた通りになることや、それが叶わ  
 なかったとしてもいつか振り返った  
 時に「なんだかんだで良い人生だった  
 な」言えるように納得した選択をして  
 過ごしてほしい。人生の結末がわかる  
 のはまだまだ先のことだが、最初の  
 一歩として進学や就職など自分で  
 選んだ道をしつかりと進んでほしい  
 と思って応援しています。(M)